

特別授業プリント

貿易ゲームに挑戦！



(i) 貿易ゲームとは？

1, 貿易ゲーム (trading game) について

6つのグループに分かれて、それぞれ国をつくります。それぞれ違う内容の材料と道具が渡されます。それらを使って○や△、□などの生産物を作り、世界銀行に売ってお金を儲けます。一番多くお金を儲けたチームが優勝です。

2, ねらい

ゲームを通じて、**交渉力・営業力**の重要性を知り、今後の社会人でのスキルアップに繋げる。
ゲーム上の出来事を基に、現実世界で起こっている問題に気づき、国際社会についての理解を深める。

3, ルール

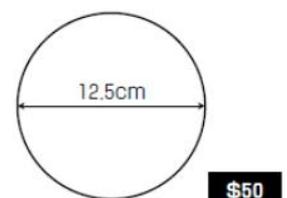
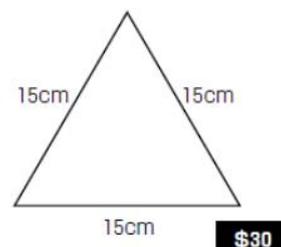
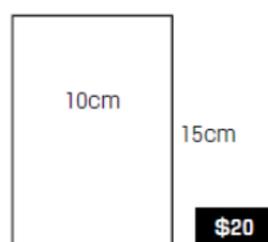
- ①グループは「国家」であり、みなさんは「国民」である。
- ②このゲームの目的は「**できるだけお金をたくさん稼ぐこと**」である。
- ③指定された加工品を紙で作ると、品質チェックをした上で、世界銀行が買ってくれる。
- ④「国連」(先生) は争いごとやもめごとがあると仲裁に入る。

「国連」はゲームの途中でルールに変更を加えることができる。その際は注意して聞くこと。

暴力禁止！それ以外はルール違反が無ければ何をしてもよい。

頭を使ってゲームに臨もう。

製品の形と価格



(ii) 貿易ゲームの実施方法

時間配分の予定

5分 : 席の配置、道具の配布、ルールの最終確認などを実施

35分 : ゲーム実施（途中でストップさせることはない。各自で考え行動すること。）

10分 : 生産物の集計、お金の計算、振り返り

- ・グループはクラス全体を6つに分けます。
- ・人数の指定はありませんが、多い方が有利です。
- ・1番お金を稼いだ国が優勝です。
- ・どうしたらお金を稼げるか？どうしたら他国に勝てるか？これにいち早く気づいた国が勝てます。
- ・勝つためのコツは「交渉」です。自由に動き回ってよいので、どんどん他国と関わり合ってください。
- ・恨みっこなし。圧力に屈しないこと。

裏面はネタバレです。

見ないように！

(iii) ゲームの振り返り

結果集計 想定国 A・B:発展途上国(資源は豊富) C・D:新興国 E・F:先進国

	元々の金額	最終金額	増減	入っている道具など
A 班	ドル	ドル		A の机に ピンク紙6枚、通貨\$50
B 班	ドル	ドル		B の机に 紙 10枚、通貨\$100
C 班	ドル	ドル		C の机に 紙6枚、定規1本、通貨\$200
D 班	ドル	ドル		D の机に 紙4枚、はさみ2本、コンパス1本、通貨\$500
E 班	ドル	ドル		E の机に 紙2枚、はさみ1本、コンパス1本、定規1本、通貨\$800
F 班	ドル	ドル		F の机に 紙4枚、はさみ1本、定規2本、通貨\$1000

振り返り(銀行係はその立場から見て思ったことを記入)

自分の順位は?	位	
成功したこと		
失敗したこと		
改善点		

3年〔 〕組〔 〕番 名前〔 〕

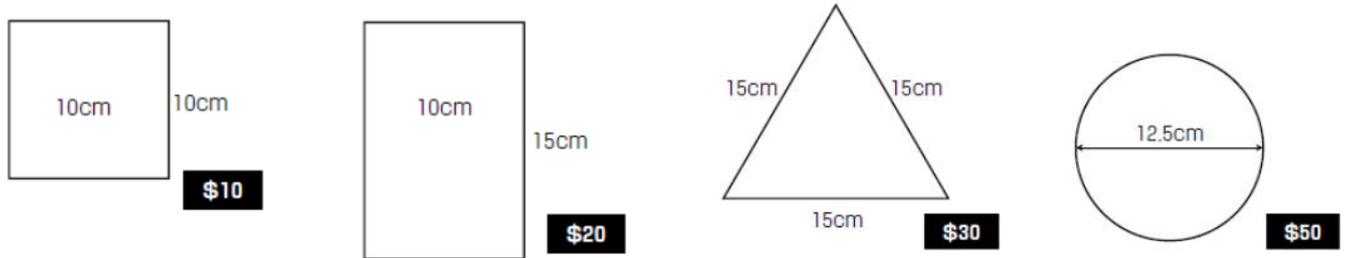
《 ゲームでの出来事・意見 》

《 現実世界での出来事 》

製品価格の下落	→ 需給のバランス、モノカルチャー経済国への打撃
製品チェックの厳しさ	→ 先進国やブランドの優位性、市場への新規参入の難しさ
原料の紙不足と紙くず	→ 有限な資源と廃棄物の多さ、環境問題
紙の追加、没収	→ 資源開発、資源枯渇、被災
モノサシで円をつくった	→ 技術革新の必要性
出稼ぎは相手にされなかった	→ 外国人労働者の問題
援助はあった？無かった…	→ ODA 政府開発援助などさまざまな国際協力の重要性
他国との貧富の差は拡大した	→ 南北問題 南北格差

↑ ほか、経済連携（FTA・EPA・TPP 等）、資源カルテル（OPEC・OAPEC 等）についても取りあげた。

製品の形と価格



隠しルール①ピンク紙は希少資源。これで作った製品は3倍の価値をもつ。

隠しルール②途中で技術革新が起こり、角ばった製品（四角形・三角形）は価値が半減する。

隠しルール③途中で技術革新が起こり、白紙で作った製品は価値が半減する。

隠しルール④途中で油田が発掘される。C の机に紙を6枚追加する。

隠しルール⑤途中で発展途上国に援助が入る。2種類を選択させるが、クリップは製品価値を2倍にしてくれるもので、輪ゴムは特に価値のない無駄な援助。